

138T

一三三三

打空教斗詳報

抄本  
昭和二十一年  
三月  
三十一日



1398

140  
141

WD#  
156267

機關砲第三百大隊

五月廿一日

戰鬥詳報

昭和二十年一月

第三師第二編

RS 95396  
Cincpac-Circroar  
B- 27179  
OKINAWA 24 July

|          |       |   |
|----------|-------|---|
| 第三十三軍司令部 | 第一連番部 | 部 |
| 第三十三軍司令部 | 第三連番部 | 部 |
| 第三十三軍司令部 | 部     | 部 |

- 一 敵素襲前ニ於ケル彼我形勢ノ概要
  - 二 部隊ノ行動ニ影響ヲ及ボシタル氣象地形ノ状態
  - 三 彼我ノ兵力敵ノ編成裝備素質及戦法
  - 四 各時機ニ於ケル戦斗經過關係部隊ノ動作及連絡施設ノ状态
  - 五 戦斗後ニ於ケル彼我形勢ノ概要
  - 六 將未参考トナルルキ事項
  - 七 附表
- 陣地配備通信網圖(要圖)  
 戦斗經過要圖  
 重要戰果要圖  
 人員損害一覽表  
 兵器損害一覽表

- 6. 彈藥損失一覽表
- 7. 兵力一覽表
- 8. 主要兵器一覽表
- 9. 人命一覽表
- 10. 戰事參加人員一覽表

敵機襲撃前二於ケル彼我形勢ノ概要

部隊編成機関砲隊百三大隊ハ昭和十九年七月二十日東部第七六部隊  
 及於テ編成ニ着手同月二十三日編成完結同月二十四日

葉出發同年八月十日那霸港ヲ揚陸(部隊ノ兵力及主  
 要兵器附表第七及第八ノ如シ)

爾後部隊  
 行動及現在  
 任務

大隊ノ球作命令甲第貳百三號及山作命令甲第參號ニ依リ沖  
 繩北飛行場ノ直接防空ニ任シ其間陣地ノ構築一〇一〇、  
 南西空襲及台湾沖航空戦ニ參加其後引續キ陸地  
 ノ構築及北飛行場直接防空ノ任ニ着手居ル處

昭和十九年十月二十日山作命令甲第拾號並黃葉作命令甲  
 第拾四號(球作命令甲第六百三號)ニ依リ那霸港及那霸港附  
 近ノ防空ヲ命セラル大隊ハ波ノ神社東側南北沿岸線ニ陣  
 地ヲ占領シ其第一中隊ニ若狭町裏地附近ニ第二中隊ヲ

築城度

陣地ヲ占領セシメ接防空任ニシテアリ其配備並  
 池部隊ノ關係位置附表第一ノ如シ  
 部隊ハ八月十日任地到着共ニ進地構築セシメ教育訓練ニ  
 関シテハ基礎訓練ヨリ如ク遂次分隊小隊中隊教練ニ  
 及ビ九月下旬ニハ大隊練、訓練地域ニ達シテ、偶ニ十月十日  
 南西空襲及台湾沖海空襲ニ参加シ其訓練ノ成果ヲ十分ニ  
 發揮スルト共ニ得タル戰訓ヲ活用シテ自下教育訓練ノ受ハ  
 精神方面 戰技方面共ニ進歩ナル戰士ニ十分其戰力ヲ發揮  
 スルニ程度ニアリ 尙昭和十九年度ハ戰地役兵ハ第二期ノ  
 教育ノ末期ニシテ機本古年ノ兵ニ伍シ戰士ニ参加出来得ル  
 程度ニテアリ  
 大隊ハ十月二十日現在地ニ到着後遂意任務ニ應ジ得ル陣  
 地構築ニ専念シテ空襲ニ対シテハ、機本ヲ完全ニスルト共ニ  
 爆撃ニ対シテハ損害ヲ、限スル等ニ基テ利用掩体等ヲ  
 構築スル加フルニ爲メ、機本ノ一日ニテ強化シ敵夜セシム

教育訓練  
状況及進  
度

戦前ノ  
形勢

戦時時ニ於ケル陣地ノ強度ハ概スル成シテアリ  
 一月二日四日ノ空襲以後南西諸島全般ニ渡リ殆ト五日ノ  
 如ク敵機ノ偵察行動及比島作戦ヲ牽制スルカ如キ行動  
 アルヲ以テ部隊ハ休宿ヲ要間ニ於テモ対空監視ノ人員ハ  
 警急ニ治安勢ノ人員ヲ配置シテ、南才特ニ掩護時ノ  
 警戒ヲ至最ニシテアリ

敵形勢  
概要

最近ノ  
敵機状況

敵航空諸情報ヲ綜合スルニ最近特ニ比島作戦開始  
 後ニ於ケル敵機ノ状況ハ、各活発ナルモノ、如ク最近ハ南西諸  
 島附近ニ敵機動部隊進々接近シテ  
 月六日 〇九四〇〇〇ヤリニモ、那覇ニ向フ南進  
 一六三ノ敵機、那覇隊三群ノ補助艦ヲ増強シテ  
 似前南支那海及台湾東方海面ニ遊スル  
 月六日 一三〇〇〇〇ヤリニモ、那覇隊三群ノ補助艦ヲ増強シテ  
 似前南支那海及台湾東方海面ニ遊スル

一月二十日  
天候及二  
雲散行動

二月十九日 一二七名高島の二機高度六〇〇〇東進機影は夜

二月二十日 一二三八〇五機八重山列島西光進中

二月二十一日 八時三十分晴午後薄曇り但し雲時々時々風向南々

二月二十二日 四時日出ハ六五〇ニテ敵機未襲ハ

二月二十三日 即チ太陽ハ最強クナリ始々タル頃ニテ敵ハ

其陽光ヲ背ニシテ侵入ス我諸動機ヲ眩惑セシメント企圖

シタリトナリ如シ

一月二十日  
天候及二  
雲散行動

二月二十二日 八時薄曇りニテ薄曇トナル風向

南々東風速一ノ二米ニテ視界比較的良好ナルヲ以テ敵

高々度ヨリ攻撃目標ニシテ一且西チニ入り我監視ハ

敵ニシテ雲中ヨリ突如降下シ我目標ヲ攻撃シテ若干ナリト

モ我対空砲火ニ依リタリ少シ減少セント企圖シタルモ如シ

陸地附近地形ハ西八百米ニシテ海西ニ臨ミ東北南ハ二節

餘キ一〇〇〇ノ距離ニ於テ機影ニシテ且即露落シ故列機

地ノ距離ハ最小四百ノ最大約八百ナリ

六隊本筋及各中隊ハ陸地タル基地ヲ利用シ天空ニ対

シテハ遠望ヲ完全ニスル共二月三日四日ハ遠望ニ於テハ戦

二月二十一日 敵機襲撃時ニ於テハ我兵力ヲ將校十六名下士五十二名

共三百八十三名 主要兵器ハ九八式高射機四挺十八門ニシテ

將校以下志氣盛々ニ旺盛且兵器ハ何レモ機影良好ノ一〇二五二八

南西諸島全地区ニ内野戦備ハ令セリ一〇二〇ニシテ全地区ニ

タルモ、如ク銃撃及爆撃ノ技術ハ一〇〇南西空襲隊ニ依テ下ニテリ  
 一月二十二日敵未幾呼ニ於テ我兵力及主要兵器ハ前日ト同シ部隊志  
 氣ハ昨日ノ今日ナルヲ以テ部隊長以下將兵前日ニ倍加シテ志氣雄々チ  
 旺盛既ニ敵ヲ敵キタルノ感アリ  
 敵ハ昨日ト其編成ヲヨソニ異ニシテラマン一BFHクランF6Fヲ主体ト  
 シテ延約セヨロ敵ニシテ其装備セルハ三三統一二十統隊開戦ニシテ  
 機薄ハ三三統一五十統ト判断セラルモ一機範約十箇ヲ携行シ未  
 タルモ、如ク尚敵ハ四〇機口ハ一砲下見考セラルモ一若干廣  
 載ニ未タリ

敵ハ三三〇ハ陽光ヲ背ニシ機三、二個編隊ニ別レニ向ニ攻撃 目標物  
 ル小隊機行場ヲ攻撃セルモ三三〇ハ其戦力ヲ従来ノ戦三ト全ク越  
 異ニシ敵機技ニ別レ敵方ヨリ同時ニ攻撃ヲ開始シ又セヨロ米空  
 高機ヨリ攻撃 目標物ヲ選定シ一旦雲中ニ突ク時マタル後(假令攻撃  
 目標物ヨリ雲ヲ離レタルモ其雲ヲ利用セルヲ今決戦キニ於テハ特徴トス)  
 又攻撃ニ際シニ敵機上機ヲトテ作用セルハ一〇〇南西空襲隊  
 全ク向ナルトス敵機銃撃及爆撃ノ技術ハ中程度ト判断ス

四 各時期ニ於ケル戦術經過關係部隊動向及連絡  
 施設状態

一月二十日部隊ハ若シ命申第拾五(一)球高依命申第拾八(一)依リ  
 〇五一五號機ヲ姿勢〇二轉移シ拂曉戦ヲ準備ヲ遺遺ナカニセル  
 共ニ戦術訓練ヲ実施シ精度速度ノ向上ヲ謀ルト共ニ兵器 彈藥  
 ノ整備 信管ノ再査檢等ヲ為シ敵機襲撃準備ノ全ヲ期シ  
 アリタル處 〇七五〇與座去ヨリB一機那覇ニ向テ情報アリ  
 〇八〇〇B一機嘉手納灣上空ニ発見 大隊長ハ直ニ戦ヲ突  
 撃カテ命スルト共ニ別隊命令ヲ下達シ部隊將兵一同好敵者タルト  
 一段ト志氣ヲ高マシセタルモ遂ニ敵ハ近接セズト東南カニ機影ヲ  
 没ス 大隊長ハ直ニ急降ヲ自機ニ對スル訓令ヲ實施スルト共ニ兵  
 器 彈藥ノ整備準備ニシテ敵未幾呼備 〇遺遺ナキヲ命スルト共ニ  
 敵機指揮所ヨリ指揮ヲ受ケ其後敵情ニ關シテ新報ヲ得ナルニ依リ







且通信連絡ニ依リ別紙命令ヲ下達セリ 又大隊長ハ追撃ヲ禁  
ルト共彈藥ノ極力節用ヲ注意シ與ヘリ

○六五〇グラマン機一六〇〇方向ヨリ高度八〇〇ヲ以テ若狭町  
民家ヲ銃撃シ来ルヲ 第一中隊捕提シ中隊同時発射ニ英射三機  
ヲ発射スルヲニ番機ハ右翼ニ命中彈ヲ受テ速度低下シ技上宮上空  
於テ六〇〇方向ニ遁走ス速次編隊ヨリ離行シテ自撃セルモ戦果不明  
(射撃諸元ハ戰果經過要圖ニ一表ニテ貼附シテリ)

○六三〇 六〇〇方向ヨリTDF四機第一中隊陣地附近ヲ迫ル  
ル機帆船ニ高度六〇〇ヲ以テ銃撃ヲ散行シ来ルヲ中隊同時発射  
一英射二八機ヲ浴セルヲ編隊ヲ解キ一六〇〇方向ニ脱去ス

内一機ハ命中彈ヲ受テ安定ヲ失シ同方向ニ遁走スルモ戦果程度不明  
○七三四一八〇〇方向ヨリTDF一機高度一〇〇〇ヨリ第一  
中隊陣地ニ襲撃ス 第一中隊ハ同隊同時一英射六〇機ヲ発射ス  
一番機ハ胴体ニ命中彈ヲ受テ煙ヲ噴キ五〇〇〇方向ニ脱去 途中煙ヲ  
消滅セルモ戦果不明 第二中隊第三中隊ハ第一中隊陣地ハ

離隔シタルト直距離遠キ為射撃ニ得ス

○七二五〇八〇〇間HGF延三機小椋飛行場ヲ銃撃セルモ  
我射撃圏外ヲ為隣接セル他部隊ニ撃墜シマカセ我ハ次期目標ヲ選  
定ニ専念ス 此間大隊長ハ敵ハ必ス雲中ヨリ急降下スルヲ以テ特ニ  
警意ヲ注シ待テ撃テ射撃ヲ命シ撃墜ニ努カセム

○八〇〇グラマン機四機上空ヲ施向シ八〇〇〇方向ヨリ急降下飛行場  
港灣ニ銃撃シ来リ雲中方向ニ遁走セントスルヲ第二中隊捕提  
第二中隊ハ中隊同時發射一英射ニ番機第三中隊ハ同中隊同時一  
英射ニ番機ヲ發射スルヲニ番機及三番機ハ胴体右翼ニ夫々命中  
彈ヲ受テ機体動搖シ速度低下スルモ其儘雲中方向ニ脱去 戦果不明

○八一五HGF機三二〇〇方向ヨリ高度一三〇〇ヲ以テ第一中隊陣地ニ  
空中通過セントスルヲ捕提中隊發射三三機ヲ浴セルヲ編隊ヲ解キ六〇〇  
方向ニ脱去ス 地ヨリ相当有効彈マリタル如ク観測セタルモ戦果不明  
○九一六HGF機二二〇〇方向ヨリ若狭港ニ急降下銃撃セル編隊後

○九一六HGF機二二〇〇方向ヨリ若狭港ニ急降下銃撃セル編隊後

第一第二中隊二百機トシテ與ハ西中隊同時発射シ必墜ラ命ス 西中隊  
 同時発射一発射六〇発ヲ発射スルヲ機体大キテ動揺シ一時安定ヲ失ヒタ  
 ルモ西方向ニ進走ス 此ノ頃ヨリ戰況漸熾烈トナルモ部隊將士志氣  
 益々盛ニシテ兵器 器械等損毀ナシ勵志満ミタルモナリ  
 〇九五八 三〇〇〇方向ヨリTBH四機 第一中隊陣地ニ向ッテ来襲セルヲ  
 第一中隊女捕獲中隊同時発射三〇発ヲ浴セルヲ先頭機胴体ヨリ火煙ヲ  
 噴キ決定ヲ失ヒ海上低ク五〇〇〇方向ニ進走ス 撃破二機 確度申ト認ム  
 一〇一五〇 一〇二五〇間ハ我効力圏内ニ入りタル敵機ナク隣接高射部隊ノ  
 七九大隊及一〇四大隊ノミテ交戦ス 部隊將士ニ同志氣旺盛切留シカ  
 タキモノアリタル處

一二二五 四八〇〇方向ヨリTBH十機 第二中隊陣地上空ヲ高度一〇〇〇〇ミテ  
 通過セルヲ捕獲 第二中隊同時発射四〇発ヲ発射スルヲニ機 編隊ヲ  
 離レ火煙ヲ噴キ安定ヲ失ヒ海上低ク三三四〇〇〇方向ニ脱去ス  
 撃破二機 確度申ト認ム  
 一二三〇〇 一〇二四〇間ハ敵機ナシ北及中飛行場方面ト首里市方面ニ

対シテ攻撃シ那覇港及小祿飛行場ニハ小編隊ノ緩慢ナル波収攻撃  
 ヲ實施ス

一二四七 四〇〇〇方向ヨリTBH五機 併セテ八機 左ニ大キテ向ヒシ  
 大隊本部上空ニ来襲セルヲ第一中隊捕獲中隊同時発射一発射  
 二八発ヲ発射スルヲ編隊ヲ解テ散方向ニ分散進走ス 有効彈相当アリタ  
 ルモ敵ニ與ハタル損毀不明

一三〇三 TBH六機 左ニ機向ヒシノ分上空ヲ通過セントスルヲ第二中隊  
 中隊同時一発射三三発ヲ発射スルヲニ機 機體ヨリ火煙ヲ発シ安定  
 ヲ失ヒ海上低ク消滅セルヲ捕獲中隊ヲ取戻シテ海上ニ進走ス 戦果不明

一三〇五 TBH三機 一七〇〇〇方向ヨリ第二第三中隊陣地ハ急襲シ来  
 タルヲ大隊長ハ第二第三中隊ヲ併セ指揮シ同時発射六〇発ノ一発  
 射ヲ浴セルヲ二機ハ機体ノ安定ヲ失ヒ海上低ク進走セルモ  
 與ハタル損毀不明

一三三六 TBH及TBH併セテ十機 西ノ方向ヨリ北ニ向ヒシノ六機  
 第一中隊同時發射二〇發ヲ發射

スルヲ敵ハ数方向ニ分散道走ス  
 一三四〇一六〇〇方向ヨリ日6日五機ハ一中隊陣地ニ未襲ス 第一中隊  
 ハ二〇四隊同時一〇三射ニ六発ヲ以テモルマシテ頭機ハ胴体ヨリ自爆ヲ吐キ  
 速度低下遂次編隊ヲ離レ時々機体ヲ動揺セシムルハ四八〇〇方向道走  
 ルモ突ハル損害不明

一六二八日6日十機二〇〇〇方向ヨリ日6日自爆ニ未襲シテ未タルヲ第一中  
 隊同時射撃ニ四発第一中隊三〇発発射第三中隊二四発ハ二五〇〇  
 中隊同時一〇三射ヲ卷セシメニ機安定ヲ失ヒ三五〇〇方向ニ道走スルモ  
 突ハル損害不明

一六四〇一八九四〇ニ至ル間大隊効力圏内ニ入ラズモ無ク敵ハ千  
 前中隊勇敢ニ進軍ヲ突進急降下流彈撃セルモ午后ハ高射砲彈  
 ヲ恐レ高射砲彈炸列スルヲ編隊ヲ解キ分散ス 然ルモ高射砲  
 撃効力圏内ニ入ラス 部隊ハ唯照準スルノミ部隊將兵ハ志氣  
 天ヲ突クモ効力圏内ニ入ラズ敵機ヲ如何トモスルマラス  
 一六四〇一八九四〇ニ至ル間大隊効力圏内ニ入ラズモ無ク敵ハ千  
 前中隊勇敢ニ進軍ヲ突進急降下流彈撃セルモ午後ハ高射砲彈  
 ヲ恐レ高射砲彈炸列スルヲ編隊ヲ解キ分散ス 然ルモ高射砲  
 撃効力圏内ニ入ラス 部隊ハ唯照準スルノミ部隊將兵ハ志氣  
 天ヲ突クモ効力圏内ニ入ラズ敵機ヲ如何トモスルマラス

一八三七軍八空襲警報解除セラルルハ大隊中隊命令由第六拾五號  
 (球高作命令第六拾八號)ニ依リ機急姿勢ニ移行シ大隊女八高  
 射司令官訓示ヲ傳達本隊中隊中隊各隊ノ戰行行動ニ関スル  
 注意ノ要旨ヲ且戰半後ノ兵器 彈藥ノ整備 陣地補強 爲替ヲ  
 命シ明機曉ノ戰半準備ノ完全ヲ期スヘク準備中アリタル處  
 再一八九三五空襲警報発令セラレ 大隊中隊命令由第六拾六號  
 (球高作命令第六拾九號)ニ依リ戰半姿勢ニ轉移シ初彈必墜ノ意  
 氣ニ燃ニタルモ敵機陣地ニ近接セズ  
 二二〇〇軍八空襲警報解除セラルルハ大隊中隊命令由第六拾七號  
 (球高作命令第六拾九號)ニ依リ警急姿勢ニ移行ス  
 然レ共射空監視ノ人員ヲ増加シ警戒ヲ嚴ニスルト共ニ明機曉戰  
 半準備ノ完成ヲ期ス

五戰半後ニ於ケル彼形勢ノ概要(其一)  
 空襲警報一月二十二日二〇〇〇以降ハ那霸港及那霸附近ニ敵機ヲ認め  
 準備 又ハ敵機警備地内ニ要機ヲ認めタルニ依リ大隊中隊各隊中隊

手入強襲、整備陸地、補強、機材、整備、明掃、戦  
斗準備、兇壁ヲ期セリ

二月二十二日、敵言急姿勢、移行後、大隊長ハ本日ノ戦ヲニ於ケル

高射司令官、訓示及注意ヲ傳達スルト共ニ其ノ大隊長  
トシテ注意及各隊毎ニ戰鬥行動ニ関スル所見及注意ヲ幹部

以下ニ與ヘル上共ニ強ナシカ実行ニ具現ヲ命ス

二月二十二日、南西空襲、南空襲ニ対シ、赫々タル戦果ヲ

二月二十二日、高射部隊ニ対シ、二月二十三日ニハ

長々モ、御嘉賞ノ御言葉ヲ賜ハリ、同二十七日ニハ

軍司令官ヨリ賞詞ヲ與ヘラル(別紙)

依テ大隊長ハ同ニ御嘉賞ノ御言葉及軍司令官賞詞ヲ

傳達スルト共ニ高射司令官ノ誓文ヲ即チ部隊ノ誓文トシ

之トシ、実行其現、対策ヲ樹立シ、大隊將校以下ニ誓言セシメ

以テ將兵、愈々奮起、益々訓練ノ精到ヲ期シ、聖旨ニ答ヘ

奉シテコトヲ期セリ

其ノ二

敵形勢、一月二十一日及二十二日、台湾及南西諸島ヲ空襲セル敵機ハ第

三十八機、動部隊一三機ヨリ成リ、空母十隻、其他五十隻、但、輸

送船ヲ合メ、ニシテ今尚本島ヨリ約一五〇軒附近ノ海上ヲ遊文

トシ、如ク再度ハ本島ヨリ攻撃ノ公算極メテ大ナリ

六、將來參考ト成ルハキ事項

一、極度ノ超低空自標ニ対シテハ待撃固定射撃ニ依ルヲ可トス

二、現在通信器、全然ナキ為、戦中指揮及之カ指導ニ精々シメタリ

速ニ整備ヲ要ス

三、敵ロケット爆彈ハ爆彈ト異ナリ、一般火砲ト同様、低伸彈道ヲ

畫キ落シ、効力大ナラス、本部戰中指揮所及第一中隊陣地附

近ニ各一落下ス



誓言 文

本二十七日軍司令閣下ヨリ別記賞詞ヲ拜受ス  
誠感激ニ堪ヘス

將兵一同愈々未獲敵米軍ニ對シ一彈必墜以ッテ  
負荷ノ重任ヲ完遂セシムヲ期ス

之カ爲特ニ左記諸項ヲ確守実行具現ス

1. 既住ノ戰訓射擊結果ノ利用並ニ注意ノ履行具現

2. 第一群射ヲ以テ眼前擊墜

3. 戰闘後ノ審査勵行

以テ自信ヲ堅持

由隊長ノ部令敵機ノ行動及射撃ノ異況ヲ記録シ

再ニ同一報ヲ踏マサルヲ共ニ確乎タル戰訓資料獲得

々々文閣ノ基本分隊教育ニ對シ徹底的ニ燒キ直ス

之ヲ教育ノ下士官委任ノ不可 將校自ラ指揮シ

致美キ其ノ勲度指摘橋正シク、續回復行

昭和二十一年一月二十一日

軍高射砲隊



圖要備配地陣隊大三砲關機

日 月 年十二

12500

詳

有線  
海傳

港

霸

那

泊

三嘉平湖

海

軍司令部

平小線

58







1114

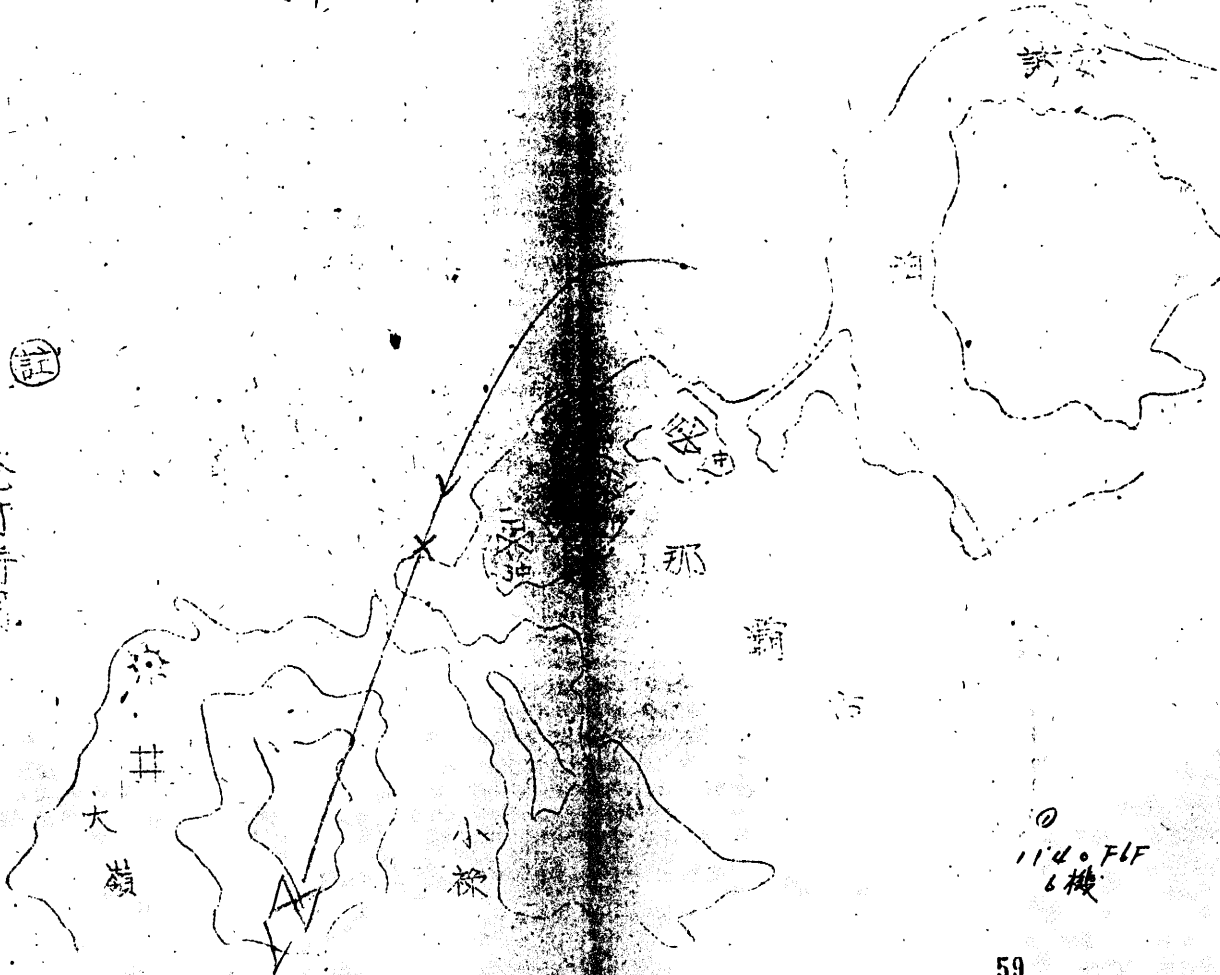
圖 要 通 全 國 武

分 十 時 十 三  
分 十 四 時 十 三

日 十 一 月 一 日 一 日 一 日

25000

⊗ 射擊  
× 射擊  
▽ 射擊  
○ 射擊



114. FIF  
6機

元一覽表

1416

| 時間   | 航速  | 航路   | 昇降   | 距離   |
|------|-----|------|------|------|
| 0650 | 140 | 4000 | 赤 25 | 1500 |
| 0720 | 135 | 3200 | 赤 25 | 1400 |
| 0744 | 135 | 4300 | 赤 30 | 1400 |
| 0807 | 140 | 4600 | 赤 30 | 1500 |
| 0815 | 140 | 2000 | 赤 25 | 2000 |

